



9月20日(木)、上宮田小学校の3年生が、魚市場、丸福水産、観音崎自然博物館の見学に出かけました。

新しい魚市場を見学、ボランティアの方のお話を聞いた後、丸福水産へ。

冷凍マグロの電動のこぎり(幅6cmの刃だそうです)

による裁断を見た後、裁断したマグロの頭をさわらせてもらいました。マグロの加工の様子を初めて見た子どもも多く、興味津々見つめていました。



そして、いよいよ冷蔵庫へ。前室(-20℃)でも、子どもたちは大騒ぎ。-50℃の冷蔵庫内では、震えあがっていましたが、貴重な体験になりました。

最後に、丸福水産の方に質問するコーナーがあり、子どもたちの質問に丁寧に答えていただきました。冷蔵庫の中には、マグロ約1t入りのパレットが110個入っていると、けが防止の金網入り手袋は1万5千円するとか、貴重な情報もゲットしました。

観音崎自然博物館では、最初に学芸員の佐野さんから諸注意、お願いがありました。その後、班別に分かれて、タッチプールやザリガニつかみ、展示物の学習などをしていきました。タッチプールでは、ヒトデやアメフラシ、ウニなどに触れて歓声が上がっていました。最後は、山田学芸部長より、三浦の海で見られる生物について、スライドショーで説明がありました。ミサキコウイカなど、三崎の名前がついた生き物があることに驚いていました。



他にも、初声小、名向小、南下浦小が、観音崎自然博物館を見学します。



23日(日)は、中央水産研究所横須賀庁舎(荒崎)の年1回の一般公開日でした。工夫を凝らした展示等が多く見られました。ちりめんじゃこの中に混じっている生き物を探すブースでは、タコやアミなど10種類以上が見つかります。子どもたちに人気のカニ釣りやタッチプールもありました。ガラス瓶にいっぱいのカニを釣った子どももいました。

クイズラリーに全問正解すると透明骨格標本がもらえます。魚とエビの骨格標本(右の写真)をいただきました。また、アンケートの記念品は、ボールペンまたは日本ウナギの幼生(レプトセファルス)のキーホルダーでした。職員の方にもごあいさつできました。



3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。すでに、22本の実践例がアップされています。皆さんの実践を共有できるように、積極的に投稿、閲覧してください。

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで